

学校給食についてのアンケート
調査結果【速報版】

令和2年8月
豊見城市立学校給食センター

はじめに

豊見城市立学校給食センターは、昭和 60 年に現在の場所に建設され、今年で 35 年目を迎える施設である。本市内にある小中学校全て（小学校 8 校・中学校 3 校）、約 8,000 食の学校給食を毎日作っているが、これは県内でも最大規模である。

年々増加している児童生徒数に対応するため、提供する給食数も増加傾向にあるが、施設の老朽化もあり、調理機器の更新だけでは対応が難しい状況にあるため、給食センターの在り方について検討が必要な時期に来ている。

また、豊見城市では、国が示した学校給食摂取基準（学校給食における栄養摂取量の基準）の栄養価を充足させることを目的に、令和 2 年度から「学校給食費保護者支援事業」を開始した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、7 月から本格的に取り込んだところである。

そこで、豊見城市教育委員会及び学校給食センターでは、実際に給食を食べている児童生徒が給食についてどのように感じているのか、学校給食の満足度等の基礎情報の把握と、令和 3 年度以降の学校給食関係施策の参考とすることを目的に、学校給食に関するアンケート調査を実施した。

今回の結果をもとに、今後の給食センターの在り方についての参考資料として活用したい。また今後の調理業務や提供方法の改善、食育の更なる推進などにも役立てていきたい。

■調査対象及び回答率

- ・今回のアンケート調査は、市内小中学校に在籍する全生徒に実施。
- ・回答は児童生徒が 2 人以上いる家庭については、最年長のみの回答とした。
- ・回答率（8/17 時点）：**21.74%**（回答世帯数：1,043、対象世帯数：4,797）

■送付・回収方法

- ・各学校に給食センターからアンケート用紙を配布。
- ・「QRコードからのアクセス」、「URLからのアクセス」、「アンケート用紙へ直接記入」の 3 通りの回答方法。

■調査期間

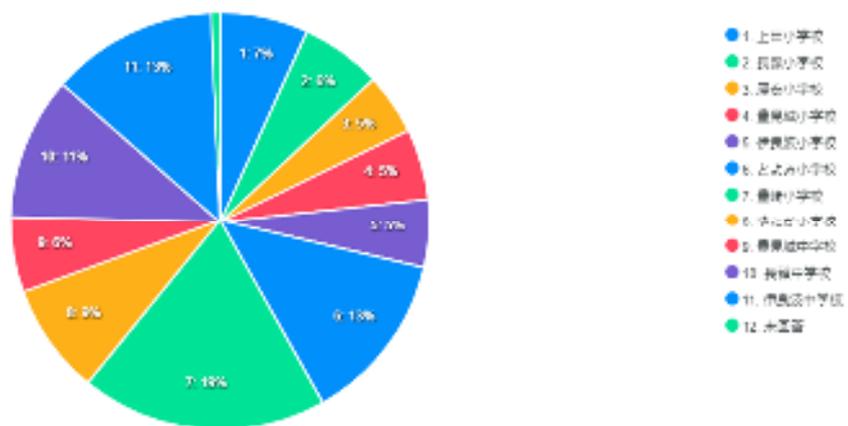
- ・令和 2 年 7 月 22 日（水）～8 月 21 日（金）

※新型コロナウイルス感染症の影響を受け臨時休校となったため、8 月 14 日（金）から 21 日（金）へ期間を延長した。

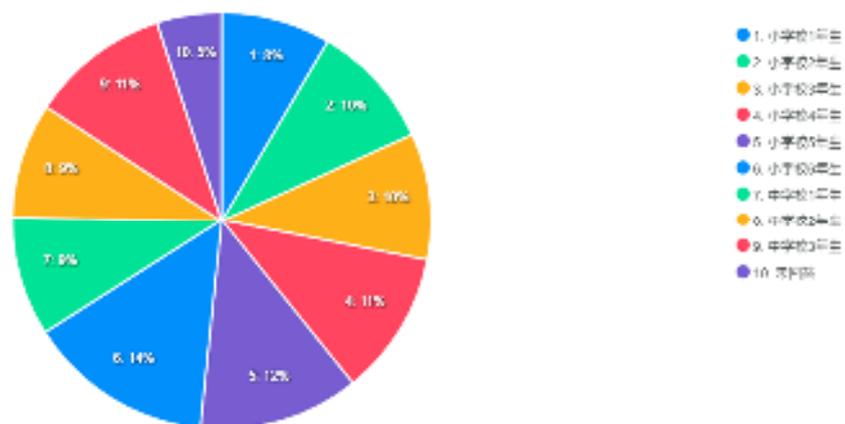
■アンケートの結果

・基礎情報（学校・学年・性別）

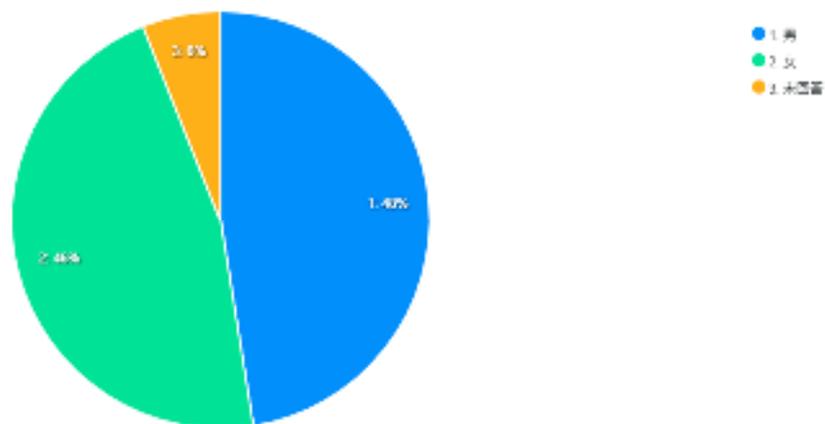
○在籍校



○学年



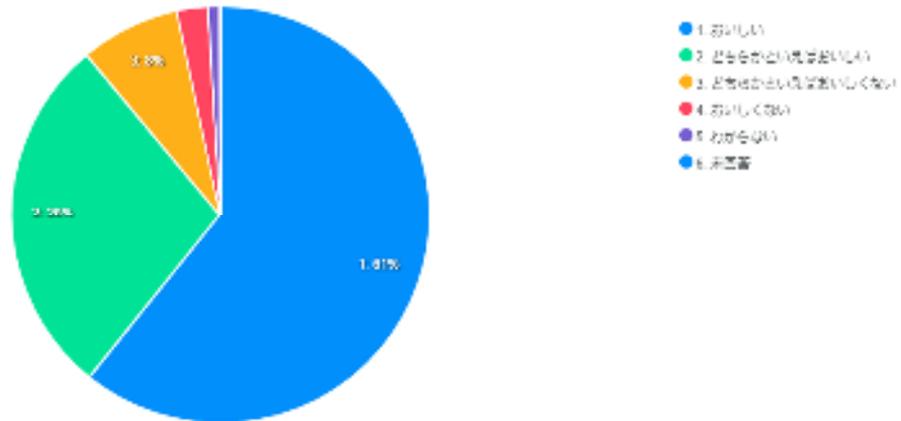
○性別



1. 児童生徒から聞き取って頂き、お答えください（問1～問4）

問1 学校給食はおいしいですか。

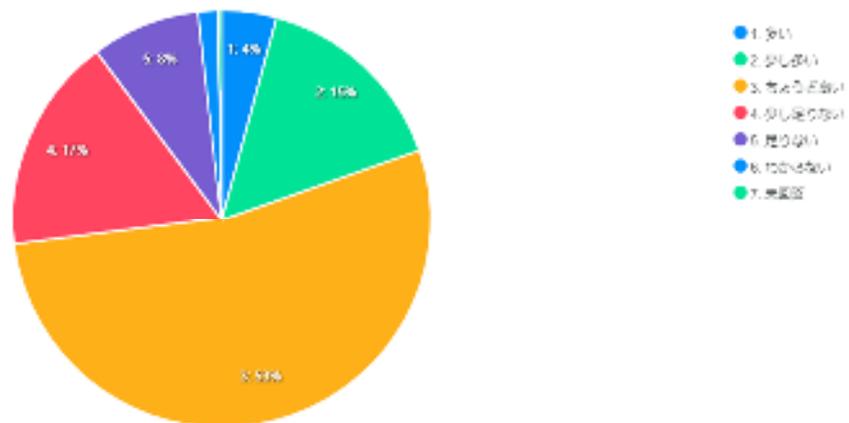
- 1：おいしい 2：どちらかといえばおいしい
3：どちらかといえばおいしくない 4：おいしくない



⇒全体の約89%の児童生徒が学校給食を「おいしい」、「どちらかといえばおいしい」と、肯定的にとらえている。

問2 学校給食の量はどうか。

- 1：多い 2：少し多い 3：ちょうど良い 4：少し足りない 5：足りない

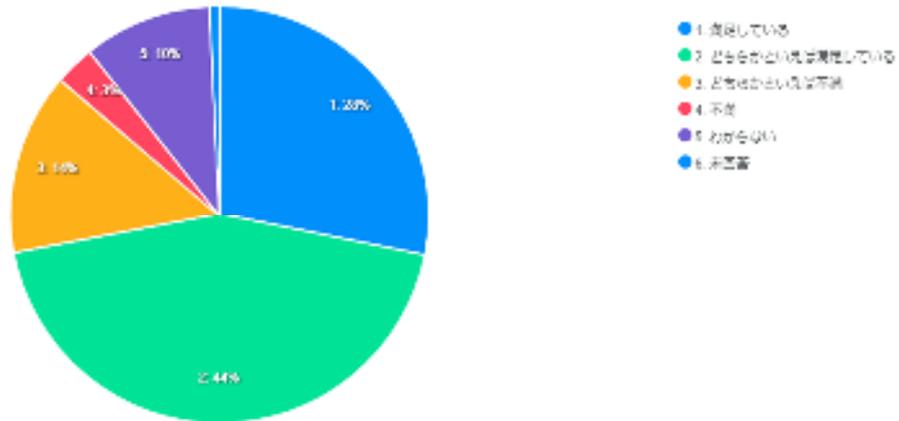


⇒全体の約53%の児童生徒が学校給食の量を「ちょうど良い」と捉えているが、約25%の児童生徒は「足りない・少し足りない」と感じている。

2. 保護者の皆様がお答えください（問5～問15）

問5 現在の学校給食に満足していますか。

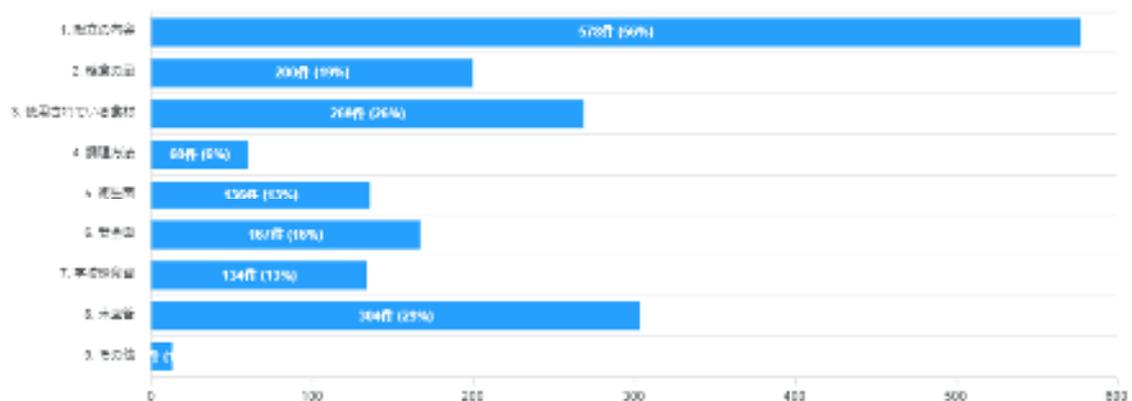
- 1：満足している 2：どちらかといえば満足
3：どちらかといえば不満 4：不満 5：わからない



⇒学校給食を肯定的にとらえている保護者は全体の約22%、否定的にとらえている保護者は全体の約17%であった。

問5① 問5で「1：満足している」、「2：どちらかといえば満足」を選んだ方に伺います。満足している項目を3つ選んでください。

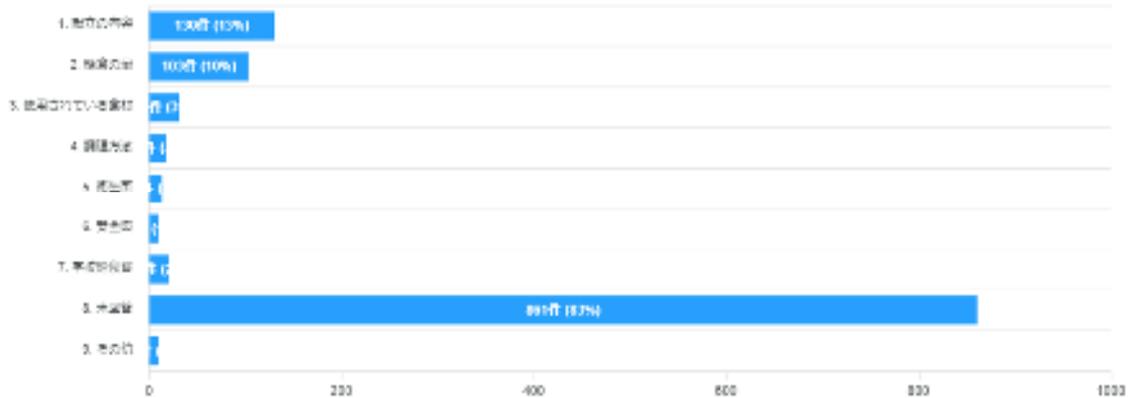
- 1：献立の内容 2：給食の量 3：使用されている食材 4：調理方法
5：衛生面 6：安全面 7：学校給食費 8：その他（ ）



⇒学校給食を肯定的にとらえている保護者は、「献立内容」、「使用されている食材」、「給食の量」について満足していることがわかった。

問5② 問5で「3：どちらかといえば不満」、「4：不満」を選んだ方に伺います。不満・改善すべきと思われる項目を3つ選んでください。

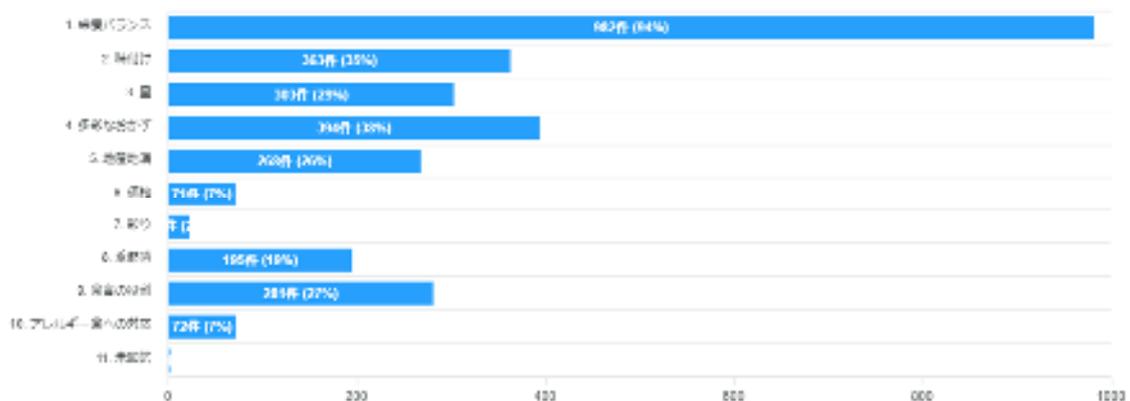
- 1：献立の内容 2：給食の量 3：使用されている食材 4：調理方法
5：衛生面 6：安全面 7：学校給食費 8：その他（ ）



⇒学校給食を否定的にとらえている保護者は、「献立の内容」、「給食の量」について不満と感じている。

問6 学校給食の献立について、重要と考えるものを3つ選んでください。

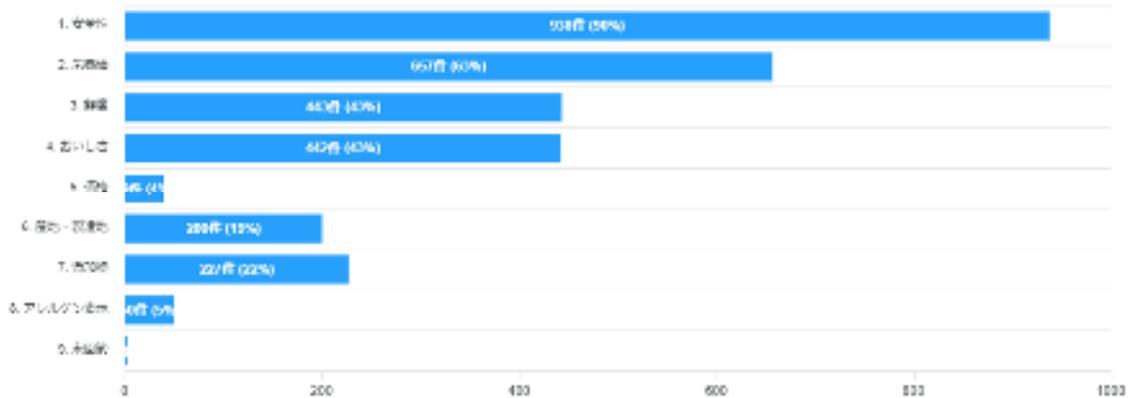
- 1：栄養バランス 2：味付け 3：量 4：多彩なおかず
5：地産地消 6：価格 7：彩り 8：季節感 9：食育の役割
10：アレルギー食への対応



⇒学校給食の献立について、「栄養バランス」を最も重要だと考えている保護者が多いことがわかる。

問7 使用する食材(米・パン・肉・魚・野菜・加工食品・調味料など)について、重要と考えるものを3つ選んでください。

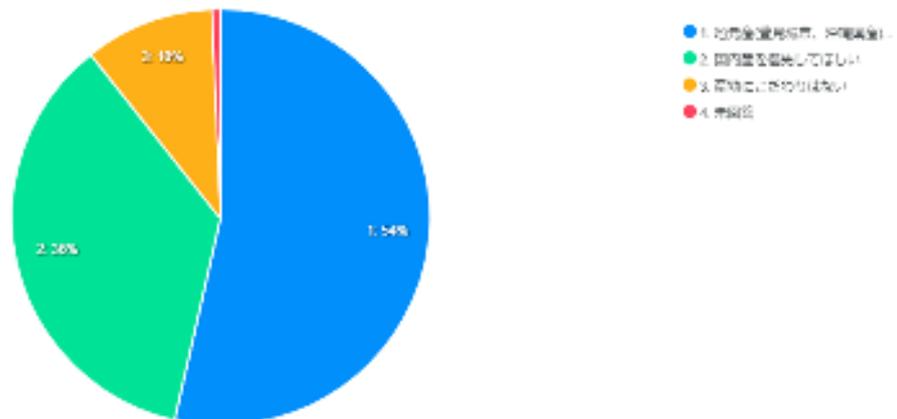
- 1：安全性 2：栄養価 3：鮮度 4：おいしさ
 5：価格 6：産地・製造地 7：添加物 8：アレルギー表示



⇒学校給食で使用する食材については、「安全性」を第一に重要だと考え、「栄養価」、「鮮度」、「おいしさ」について重要と考えていることがわかる。

問8 給食で使用する食材の産地について、どのようにお考えですか。

- 1：地元産(豊見城市、沖縄県産)を優先してほしい
 2：国内産を優先してほしい 3：産地にこだわりはない

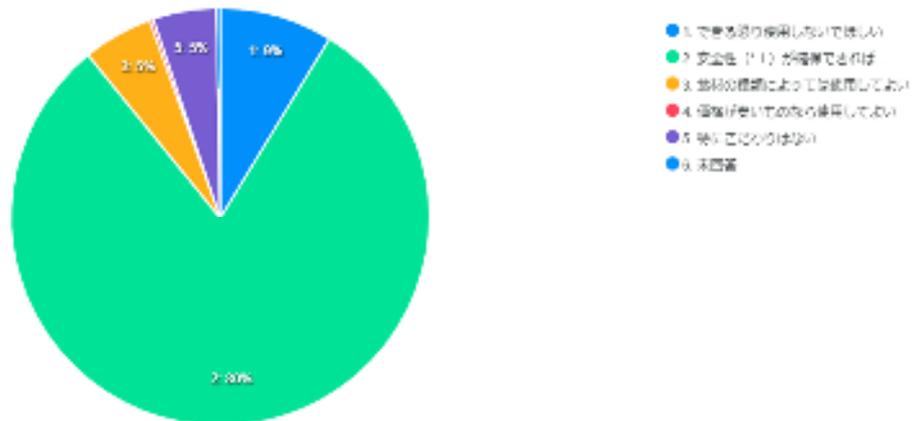


⇒給食で使用する食材については、「地元産（豊見城市、沖縄県産）」を優先してほしいという意見が多い。国内産で考えると約90%の保護者が国内産を希望していることがわかる。

問9 国産の入手が難しいパプリカなどの一部の食材は、外国産食材（冷凍を含む）を使用しますが、どのようにお考えですか。

- 1：できる限り使用しないでほしい 2：安全性*1 が確保できれば使用してよい
 3：食材の種類によっては使用してよい 4：価格が安いものなら使用してよい
 5：特にこだわりはない

*1 安全性の確保については、残留農薬、異物混入等の確認を意味します。

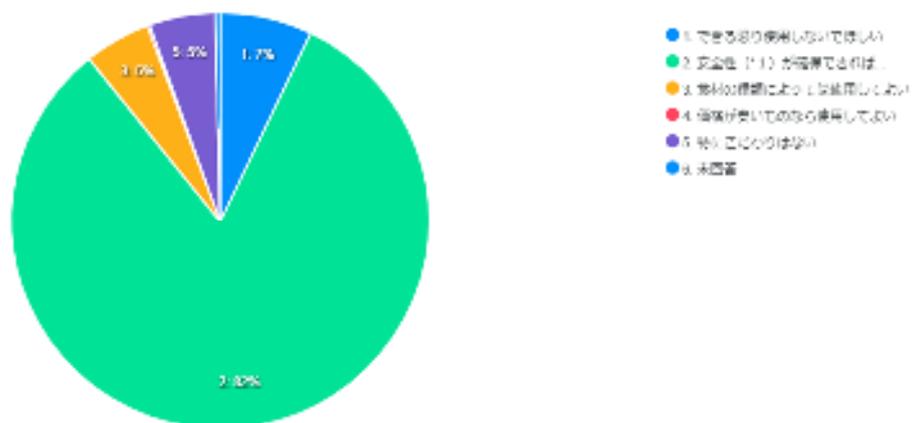


⇒食材の関係上、外国産を利用することも多いが、「安全性が確保できれば使用しても良い」という意見が全体の約80%であることがわかる。

問10 毎日約8,000食の大量の学校給食を提供するため、献立内容により冷凍を含む加工食品や加工野菜を使用しますが、どのようにお考えですか。

- 1：できる限り使用しないでほしい 2：安全性*1 が確保できれば使用してよい
 3：食材の種類によっては使用してよい 4：価格が安いものなら使用してよい
 5：特にこだわりはない

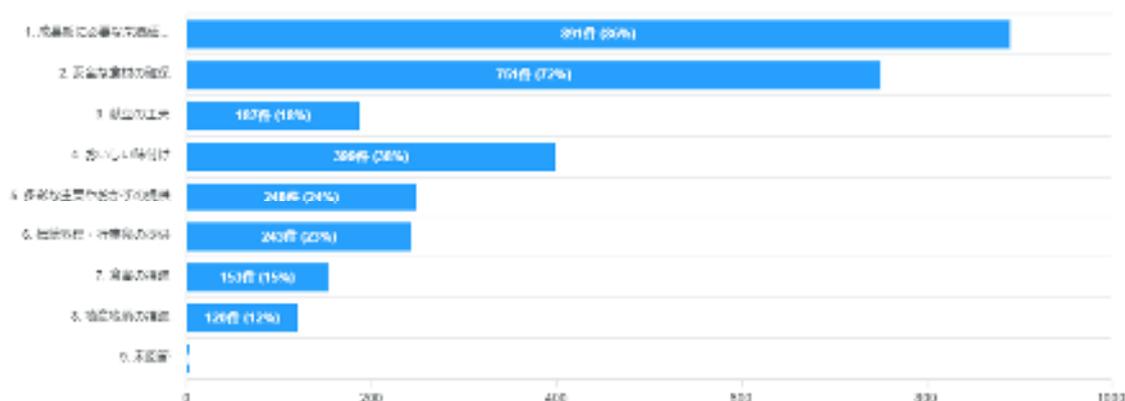
*1 安全性の確保については、残留農薬、異物混入等の確認を意味します。



⇒調理の関係で使用する冷凍食品や加工食品についても、「安全性が確保できれば使用しても良い」という意見が約82%あることが確認できた。

問11 今後、充実した給食を安定して提供していくために優先すべきと考えるものを3つ選んでください。

- 1：成長期に必要な栄養価の確保 2：安全な食材の確保 3：献立の工夫
 4：おいしい味付け 5：多彩な主菜やおかずの提供 6：伝統料理・行事食の提供
 7：食育の推進 8：地産地消の推進



⇒学校給食を安定的に提供するにあたり、「成長期に必要な栄養価の確保」や「安全な食材の確保」、「おいしい味付け」を希望していることがわかる。

問12 今後、学校給食を安定的に供給していくために様々な施策の検討を行います。優先すべきと考える順に番号をお答えください。

- ①：給食費の保護者負担を軽減する為、財源確保を目的とした基金を設立する
- ②：食材の購入方法の工夫を行い、給食費の負担軽減を図る
- ③：建設されて約35年が経過する現在の給食センターについて、リスク分散のため新センターの分離建設を目指す。
- ④：近年高騰を続ける食材費への対応策として給食費の値上げを行い、保護者に対して負担協力をお願いする。

⇒この問では4つの選択肢に優先順位をつけて回答するものであることから、結果をわかりやすくするため、下記表のとおり点数をつけて総得点を出した。

点数表	1位	2位	3位	4位
1番優先	10	9	8	7
2番優先	8	7	6	5
3番優先	6	5	4	3
4番優先	4	3	2	1

⇒総得点は下記のとおり。

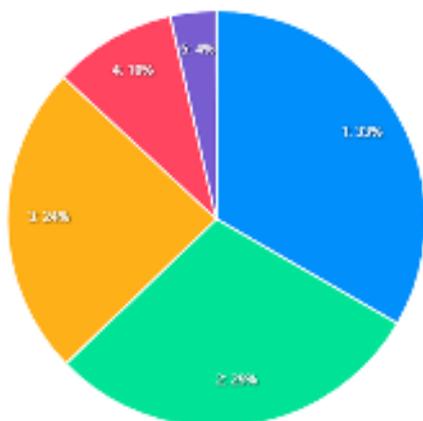
	①		②		③		④	
	回答数	点数	回答数	点数	回答数	点数	回答数	点数
1番優先	346	3,460	305	2,745	249	1,992	99	693
2番優先	272	1,904	363	2,904	204	1,224	146	730
3番優先	214	1,070	211	844	356	2,136	180	540
4番優先	150	300	108	108	156	468	534	2,136
総得点	6,734		6,601		5,820		4,099	

⇒上記表で総得点を出した後、①～④の合計が100点満点になるように配分した結果は下記のとおり。

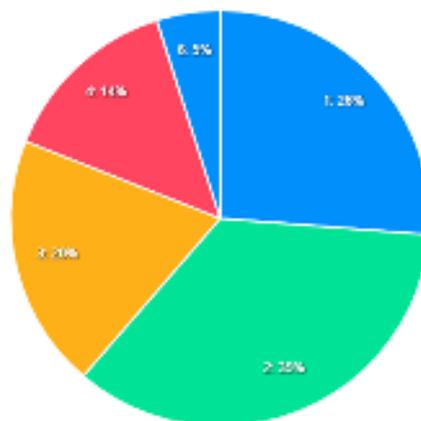
	①	②	③	④
100点	29.0点	28.4点	25.0点	17.6点

⇒①と②はわずか0.6点差で大きな差がみられないが、どちらも「負担軽減」に関することであり、「負担軽減」を目指した取り組みが求められている。

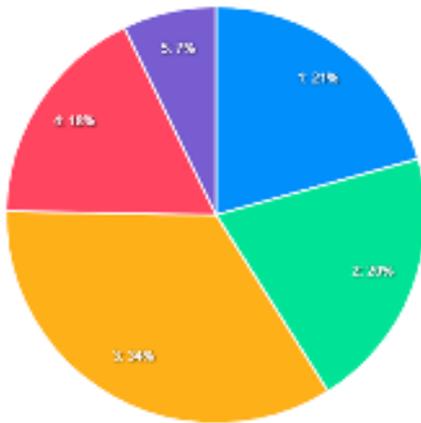
○1番目



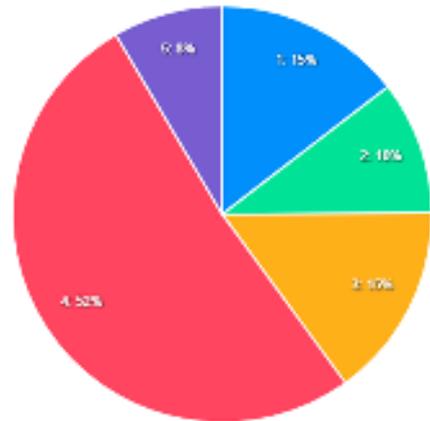
○2番目



○3番目

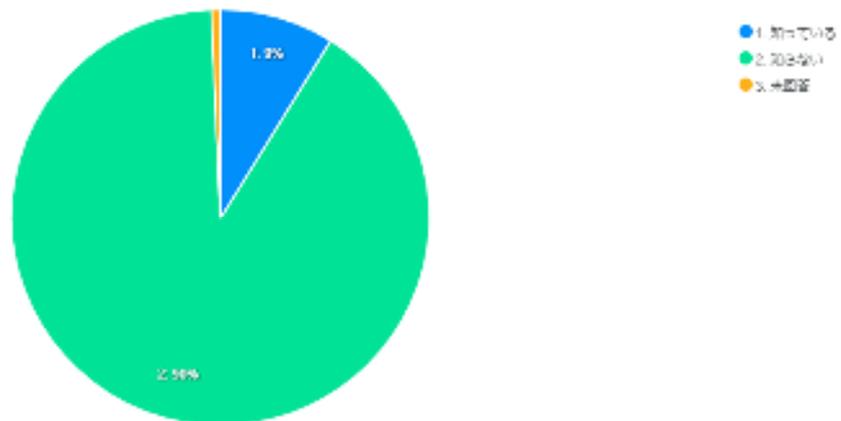


○4番目



問13 国が示した学校給食摂取基準(栄養摂取量の基準)の栄養価を向上させる目的に令和2年度より「学校給食保護者支援事業」にて給食費の補助を行っています。保護者の皆さまに毎月お支払いして頂いている給食費に対して、小学校で600円、中学校で700円を市で上乗せする形で補助していますが、この事業について知っていましたか。

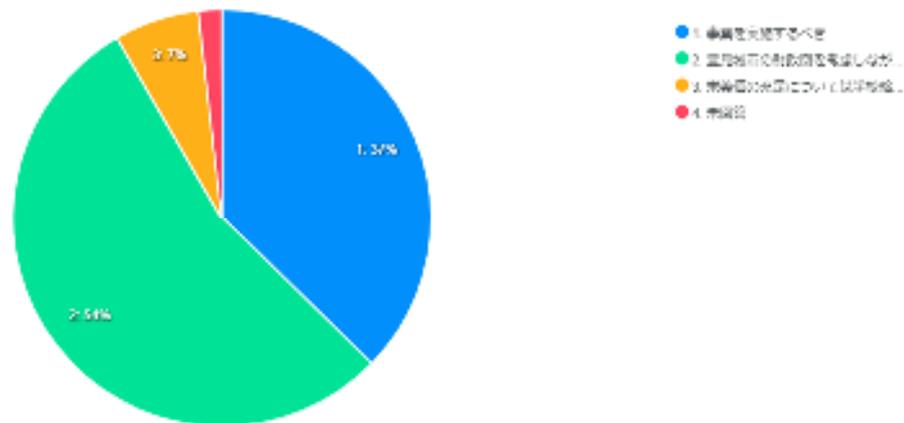
1：知っている 2：知らない



⇒保護者の約90%が「学校給食費保護者支援事業」が開始されていることを知っていなかった。今後は広報紙等を通じて事業周知を強化していく。

問14 上記の「学校給食保護者支援事業」についてどのようにお考えですか。

- 1：事業を実施すべき 2：豊見城市の財政面を考慮しながら事業を実施すべき
3：栄養価の充足については学校給食費の保護者負担増額改定で対応



⇒保護者の約91%は、事業を実施してほしいと考えていることがわかった。

問15 学校給食について、ご意見やご要望がありましたら、ご記入ください。(自由記述)

※取りまとめ中

■まとめ

※取りまとめ中